

SERVICE GUIDE — OVERVIEW

金融機関向け | AI導入コンサルティングサービス

AI導入コンサルティング サービス 全体ガイド

AI Transformation Consulting for Financial Institutions

PHASE 1	PHASE 2	PHASE 3	PHASE 4
AI戦略・ 構想策定 6 Services	業務AI実装方針策定・ BPR 6 Services	AIガバナンス・ リスク管理 5 Services	AI活用進化支援 サービス 1 Service (Retainer)

変わり続けるAIに、振り回されない設計を。

銀行の知恵をAIに継承する。

本サービスの設計思想は、AIツールを「入れる」前に、銀行に蓄積された業務知識・判断ノウハウを「AIが使える形」に変えることにあります。ツール先行でもベンダー先行でもなく、知恵の構造化から始めるアプローチです。

DESIGN PRINCIPLE

業務知識の構造化から始め、 エージェントに受け継ぐ。

「どのAIを選ぶか」は後からでも変えられます。しかし「どの知識を、どの順序で、どのようにAIに継承するか」の設計は、後から作り直すコストが大きくなります。Phase 1の構想段階から、この「知恵の構造化」を中心に据えることで、変わり続けるAIに振り回されない設計が可能になります。

Four Differentiation Axes

4つの差別化軸

AXIS 01

業務知識の構造化

ツールを入れる前に、銀行のノウハウを「AIが使える形」に変えます。判断基準・営業ノウハウ・審査ロジックをSkillsとして整理し、どのAIでも継承可能な資産にします。

AXIS 02

ベンダーニュートラル

特定のAIベンダーに依存しません。Azure OpenAI/AWS Bedrock/NTTデータ LITRON等の比較評価を前提に、Model-Agnosticな基盤設計を行います。

AXIS 03

既存資産の活用

スクラッチ型ではなく、既存のRPA・RAG・AIツールの上にAI判断層を重ねる『オーバーレイ型』設計に対応します。レガシーを維持したままAIの自律性を追加できます。

AXIS 04

失敗からの学習

「PoCは動いたが本番で失敗する」という2026年の典型的パターンを踏まえて設計します。Phase 4ではさらに、定着後の静かな劣化（Skills陳腐化等）を予防し続けます。

4フェーズ × 18サービス。

AI戦略の構想から、実装・ガバナンス・進化追従までを、4つのフェーズで一気通貫に設計します。全行一斉導入は必要ありません。1サービス単独の発注から、複数サービスを組み合わせた全社ロードマップまで、状況に応じて柔軟にご提供します。

PHASE 1	PHASE 2	PHASE 3	PHASE 4
AI戦略・構想策定 6 Services	業務AI実装方針策定・BPR 6 Services	AIガバナンス・リスク管理 5 Services	AI活用進化支援 1 Service (Retainer)

NO.	サービス	期間	レイヤー
PHASE 1 AI戦略・構想策定 — 知恵がどこにあるか「発見」する			6 Services
Ph1-①	顧客接点AI活用機会診断 3チャネル横断でAIが担う仕事と行員が集中すべき仕事を仕分け	1～2ヶ月	フロント
Ph1-②	審査・リスク管理AI高度化構想策定 AI/人間/HITLの三層定義、金融庁PP・EU AI Act・SR 11-7対応	1～2ヶ月	ミドル
Ph1-③	行内ナレッジ・事務AI活用度診断 探索コスト削減ポテンシャルと暗黙知喪失リスクを可視化	1～2ヶ月	バック
Ph1-④A	AI基盤アーキテクチャ戦略策定 3パターン比較 + AIEージェント共通基盤5層モデル設計	1～2ヶ月	横断 / IT
Ph1-④B	AI規制動向分析・対応方針策定 金融庁PP・EU AI Act・米国規制のロードマップ化	1ヶ月	横断 / 規制
Ph1-④C	業務知識Skills化ロードマップ策定 全行のAI継承順序とPhase 2移行計画の統合設計	1ヶ月	横断 / 知識
PHASE 2 業務AI実装方針策定・BPR — 知恵をAIEージェントに「継承」する			6 Services
Ph2-①A	法人営業AI参謀導入構想策定 面談前・中・後の営業ノウハウのSkills化・参謀AIの実装方針策定	3～4ヶ月	フロント
Ph2-①B	デジタル顧客接点AI実装方針策定 AIオペレーターの要件定義とHITLエスケーション設計	3～4ヶ月	フロント
Ph2-②	融資審査マルチエージェント設計 Supervisor型Harnessで審査フローをAI前提に再設計する方針策定	4～6ヶ月	ミドル
Ph2-③	行内ナレッジAI基盤構想策定 RAG要件定義・暗黙知形式知化・Skills継続更新運用設計	3～5ヶ月	バック
Ph2-④A	AIEージェント共通基盤設計支援 全行Skillsライブラリ基盤と共通サーバー基盤の整備方針策定	4～6ヶ月	横断 / IT
Ph2-④B	AI人材育成・チェンジマネジメント 評価制度再設計を起点にAI前提の組織文化に転換	3～6ヶ月	横断 / 人材

上流コンサルティングに専門特化。

本サービスは、AI導入における「戦略・構想・業務要件レベルの上流コンサルティング」に専門特化しています。詳細設計・実装・運用構築は、別主体である実装パートナーが担います。

上流設計をベンダー中立の立場で付与し、**実装パートナーが負う複雑性と明確に切り分けること**で、金融機関は「何を、どの順序で、どこまでAIに任せるか」の設計の意思決定を自社に保持できます。

OUR SCOPE

当社が担う領域

上流コンサルティング

- 業務知識の構造化（Skills化）の設計
- 業務要件定義・アーキテクチャ方針策定
- ガバナンス・規制対応の方針設計
- 実装パートナーへの発注要件の整備
- PoC計画策定および結果評価

PARTNER SCOPE

実装パートナーが担う領域

下流実装

- AIシステム・基盤の実装および構築
- 検証・テスト・本番運用環境の構築

選ばれる理由と、柔軟な入り方。

全行一斉導入はむしろ稀です。「まず診断から」「規制対応だけ急ぎたい」「PoCから」—入り方はクライアントの状況ごとに異なります。当社は、小さく始めて全体に広げる設計を標準としています。

選ばれる4つの理由

01

金融業務 × AI設計の両輪

金融機関の業務実態を知り、かつAIアーキテクチャを理解できるシンクタンクです。「何のツールを入れるか」ではなく「どの業務をどう変えるか」の設計に踏み込みます。

02

ベンダー中立のアーキテクチャ

Azure OpenAI/AWS Bedrock/NTTデータ LITRONシリーズ等を比較評価し、Model-Agnosticな基盤を設計します。特定ベンダーの都合に縛られません。

03

診断から実装・運用まで一貫

Phase 1の診断結果が、そのままPhase 2の実装仕様、Phase 3のガバナンス設計、Phase 4のAI活用進化支援サービスに接続されます。「診断だけで終わり」になりません。

04

規制・倫理の先読み

金融庁AIディスカッションペーパー-v1.1、EU AI Act（2026年8月全面適用）、米国SR 11-7を構想段階から織り込み、実装後の規制対応手戻りを防ぎます。

エントリーポイントの柔軟性

お客様の状況	推奨開始サービス
まず現状把握から始めたい	Ph1-①②③ のいずれか1サービス（フロント/ミドル/バック）
特定業務のPoCから始めたい	Ph2 の該当サービス単独（営業・審査・ナレッジ等）
全体ロードマップを先に作りたい	Ph1-④C （業務知識Skills化ロードマップ策定）
ガバナンス整備だけ急ぎたい	Ph3-④A 単独（AIガバナンス体制構築・運用支援）
AI脅威対応・Skillsセキュリティが急務	Ph3-④B 単独（AI脅威インテリジェンス）
評価制度・人材育成から着手したい	Ph2-④B （Phase 1と並行または先行発注可）
既存AIの運用・ROI可視化が課題	Phase 4 単独（AI活用進化支援サービス）

4フェーズの役割と接続。

各フェーズは独立して発注可能ですが、前後のフェーズへ自然に接続する設計になっています。Phase 1で発見した知恵が、Phase 2でAIに継承され、Phase 3で品質を守られ、Phase 4で陳腐化しないよう進化し続けます。

PHASE 1

AI戦略・ 構想策定

知恵がどこにあるか
「発見」する

フロント/ミドル/バック各レイヤーでAI活用の現在地を可視化し、Task（AIに任せる仕事）とPurpose（行員が集中すべき仕事）を切り分けます。さらに基盤アーキテクチャ・規制対応・全行ロードマップを横断的に整理し、Phase 2実装への投資判断材料を揃えます。

SERVICES 6 DURATION 1～2ヶ月 / 各 ENTRY 1サービス単独から可

PHASE 2

業務AI実装方針 策定・BPR

知恵をAIエージェントに
「継承」する

営業・審査・行内ナレッジの各領域で、業務知識のSkills化方針とAIエージェントの実装方針・要件定義を策定します。既存資産を活かす「オーバーレイ型」、新規業務の「スクラッチ型」、両者を組み合わせる「ハイブリッド型」の3パターンから選択。AIエージェント共通基盤設計と、AI人材育成・チェンジマネジメントが横串として機能します。

SERVICES 6 DURATION 3～6ヶ月 / 各 PATTERNS オーバーレイ/スクラッチ/ハイブリッド

PHASE 3

AIガバナンス・ リスク管理

Skills化された知恵の
品質を「守る」

従来のモデル精度・データガバナンスに加え、Skillsライブラリ自体の品質・更新・承認体制を管理します。顧客接点/審査/行内ナレッジごとのモニタリング、Skills承認・配布・廃止フロー、AI特有の脅威（プロンプトインジェクション・Skillsセキュリティ等）への対策を一体で設計します。

SERVICES 5 DURATION 1～4ヶ月 / 各 REGULATION 金融庁PP / EU AI Act / SR 11-7

PHASE 4

AI活用進化支援 サービス

知恵が陳腐化しないよう
「進化」し続ける

Phase 1～3で構築したAIエージェント・Skillsライブラリ・ガバナンス体制を継続的にモニタリング・更新します。月次Skills稼働監視・四半期AI活用健診・年次ROI評価を年間リテーナー契約で提供し、2026年に顕在化している「定着後の静かな劣化」を予防します。

SERVICE Retainer CYCLE 月次/四半期/年次 ENTRY Phase 3完了後/単独可

Contact

どこから始めるかは、 現状の整理からご相談ください。

AI投資の優先順位は金融機関ごとに異なります。フロントから入るか、ガバナンスから入るか、規制対応から入るか—どの入り方が
貴行に合うかを、まず1時間のディスカッションから整理いたします。

CONTACT

ai-finance@nttdata-strategy.com

TEL

03-5213-4009

WEB

www.nttdata-strategy.com

UNIT

金融政策コンサルティングユニット

担当

前田・中村

ISSUE

2026年5月